

学校評価アンケート（保護者）の結果について

6月に実施しました、学校評価アンケートの結果についてご報告申し上げます。今回のアンケートには多くの保護者の皆様にご協力いただき、率直なご意見を賜りましたこと、心より感謝申し上げます（回答率：73.9%）。

「確かな学力」について

- ・ 特に③「よく本を読んでいる」については、肯定的な回答（4よくできている、または、3できている）が52.8%と、前回（52.7%）とほぼ同様の低い結果となりました。
- ・ 小学校から中学校へ進学するにつれ、読書量が減少する傾向が見られます。これは、各教科の学習時間が増え、読書の時間が確保しづらくなっていることが一因と考えられます。
- ・ 学校では、児童生徒の興味・関心に応じた書籍の定期購入や、読書の楽しさ・大切さを伝える活動や企画を通じて、読書習慣の定着を図っています。
- ・ PTA ボランティアの皆様のご協力により、昨年度は週3日だった昼休みの図書室開館を、今年度は週5日に拡充しました。また、図書室の環境整備にも取り組み、児童生徒がより快適に読書できる空間づくりを進めています。
- ・ 子どもたちに人気の読み聞かせ活動も継続してお願いしたいと考えております。ご家庭でも、読書に親しむ時間を意識的に設けていただけますようお願いいたします。
- ・ 一方で、②「学習習慣」は改善が見られ、肯定的な回答が72.3%（前回）から80.8%（今回）へと向上しました。
- ・ ④「英会話」については、肯定的な回答が70.3%（前回）から66.4%（今回）へとやや減少しました。今後、児童生徒の実態や課題を踏まえ、改善策を検討してまいります。

「豊かな心」について

- ・ 全体的に高い評価をいただき、すべての項目で肯定的な回答の割合が前回より上昇しました。
- ・ 特に①「友だちや先生などに、自分から進んであいさつをしている」は、76.5%から82.8%へと大きく改善されました。
- ・ 前回のアンケート結果の振り返りを生かし、教職員が率先して気持ちの良いあいさつを心がけたことや、児童生徒による委員会活動「あいさつ運動」の効果が表れていると感じています。
- ・ 引き続き、道徳を要とした、各教科、学級活動、学校行事などの学校教育活動全体を通じた指導を充実させるとともに、保護者・地域の皆様と連携しながら、児童生徒の心の成長を促してまいります。

「たくましい心身」について

- ・ ②「運動習慣」は、肯定的な回答が75.4%と、前回（73.9%）とほぼ同様の結果であり、他の項目と比べると低くなっています。
- ・ 海外での生活環境により、運動の機会が限られていることが一因と考えられます。
- ・ 適度な運動習慣に加え、規則正しい生活（睡眠・食事など）は、健やかな学校生活と将来の健康の基盤となります。
- ・ 学校では、体育や水泳の授業に加え、ドッジボール大会・長縄大会・スポーツ大会などの企画を通じて、運動習慣の定着と体力向上に努めています。
- ・ ご家庭でも、お子様が自発的に体を動かす機会を持てるようご協力をお願いいたします。

「信頼される学校」について

- ・ 全体的に高い評価をいただき、すべての項目で肯定的な回答の割合が向上しました。
- ・ 前回は80%程度だった項目も、今回は90%以上またはそれに近い数値となりました。
- ・ 前回のアンケート結果の振り返りを生かし、②「目指す子どもの姿や学校経営方針」については、学校だよりやホームページなどを通じて、情報発信の工夫を重ねてまいりました。
- ・ また、児童生徒や保護者の声に耳を傾け、丁寧な対応・説明を心がけてきたことも評価につながったと考えております。
- ・ ⑦「MJSに入学させてよかった」についても非常に高い評価をいただき、大変ありがたく思っております。
- ・ 一方で、⑤「子ども一人一人に適切な指導や支援を行っている」は、今後も継続的な課題として真摯に取り組んでまいります。
- ・ 引き続き、MJSの子どもたちのために、学校と保護者が協力して取り組める「信頼される学校」を目指してまいります。



自由記述への回答

保護者の皆様よりいただきましたご意見（自由記述）への回答です。全体での回答が適当でないものにつきましては回答しておりませんが、いただいたご意見はすべて真摯に受け止め、今後の学校運営に生かさせていただきます。また、PTA 活動へのご意見については PTA 役員に伝えさせていただきます。

1. 安全管理について

（1）「保護者が面倒がっても安全管理をより徹底していただけるとよい（スクールパス（以下、ID）着用の徹底を）」とのご意見をいただきました。

（入校）車両での入校に際しては、登下校時、正門にて乗車者の ID 提示を求めた場合、更なる渋滞を引き起こすことが予想されるため、フロントガラスにカーステッカー貼付のみで入校許可の確認を行っております。徒歩で入校の際は、必ず ID の提示を依頼しています。

（校内）MJS ハンドブックに記載させていただいているとおり、校内では ID を着用していただきますよう、改めてお願いいたします。また、外部の方が入校する際は、必ず受付で身分証明書とビジターズ ID を交換、受け取りをしてから入る仕組みをとっています。そのため、基本的に不審者かどうかは、ID の有無で判断することとさせていただいております。警備員は、24 時間 365 日常駐していますので、登下校時はもちろん、放課後の部活動への送迎時にも必ず ID を携帯、提示してください。もし ID を忘れた際は、必ず校門のガードマン、車での入校の際はカウンターの警備員に申告して頂き、ビジターズ ID を取得してください。

また、「授業参観日とは別に、授業を参観したい」「忘れ物を取りに、教室に行きたい」等で校舎内に立ち入る場合は、事前に担任（教職員）に申し出ていただくよう、重ねてお願いいたします。

（2）「虫除けスプレーはしているが、最近毎日蚊に刺されて帰ってくるのが気になる」とのご意見いただきました。学校としましては、児童生徒が快適かつ安全に過ごせるよう、定期的（月 2 回）にペストコントロール（害虫駆除）を実施しております。また、電気蚊取り器や虫よけバープマットの使用など、蚊の対策にも取り組んでいるところです。しかしながら、自然環境の中で活動することも多く、完全に蚊の被害を防ぐことは難しいのが現状です。特に、雨季には、蚊の発生が増える傾向があり、対策を講じていても刺されてしまうことがございます。今後もできる限りの対策を継続・強化し、児童生徒の健康と安全を守るために努めてまいります。ご家庭でも虫除けスプレーなどのご対応をいただいていることに感謝申し上げます。

2. 学習指導について

（1）「各学期に 1 度、英語や水泳の授業を見学してよい日を設けてほしい。英語の授業を増やしてほしい」とのご意見をいただきました。参観会の年間日数の関係で全学年ではありませんが、なるべく参観会にて英会話や水泳の授業をご覧いただけるようにしています。また、事前にご連絡いただければ参観会以外の日でも授業を参観していただけますので、参観の希望がありましたら担任までご連絡ください。

（2）「5 年生から外国語の授業が始まりました。今まであった習熟度別の授業を潰して実施しているのでしょうか？内容が極端に簡単すぎるので、学力向上の機会を損失していると感じます。初等教育で義務として決まっていることは理解しますが、やり方の工夫が必要ではないでしょうか」とのご意見をいただきました。本校が独自に行っている英会話の学習では、主に本校で作成した英会話のテキストを用いて独自のカリキュラムで授業を行っています。一方、教科としての外国語の授業では、日本の学習指導要領に基づいた文科省検定の外国語の教科書を用いて行っています。内容の難易については、差があるとは思いますが、学習指導要領に基づいた指導を行うためには教科書を使用した学習も必要となります。指導方法については、今後も改善を図ってまいります。

3. 英語・英会話について

（1）「英語でのプレゼンテーション（スピーチ、ディベート）や、レポートなどのライティング指導をしてほしい」とのご意見をいただきました。英会話の授業だけでなく、学級での外国語の授業も活用しながら、児童生徒の発達段階に応じて、統合的に英語での表現活動へつなげていけるよう、指導を行ってまいります。また、「PSAT/SAT 等に対応した語彙指導を行ってほしい」とのご要望もいただいておりますが、大学入試レベルの英語力を前提とした試験対策としての語彙指導につきましては、本校の E1（小学部 1 年）から H3（中学部 3 年）までの学習内容において、必ずしも意図的にカバーすることは想定しておりません。ご理解いただきますよう、お願いいたします。

（2）毎回の英会話の授業内容が不明瞭とのご意見をいただきました。今後、定期的に各クラスで扱った題材や学習内容についてお知らせする取組を検討してまいります。また、英会話の授業がある日には、ぜひご家庭でも「今日はどんな表現を学んだの？」などとお子様に聞いて、どのような会話練習を行ったのかを話題にいただければと思います。ご家庭での振り返りが、その日の学

びの定着にもつながります。なお、ご希望があれば、英会話の授業を参観いただくことも可能です。担任までお気軽にお声がけください。

(3)「せっかく海外の学校にいるのだからもっと英語の時間を増やしてほしいと今まで要望があったと思いますが、その結果が英語クラブなのでしょうか。」とのご意見をいただきました。英語や英会話の時間を増やすことにつきましては、本校の教育課程については日本の学校同様、文科省の定める学習指導要領に則り各教科等の授業時数を確保することを念頭に編成しており、現時点では、限られた授業時間(週時程)の中で英語・英会話の時間を増やすことは難しいと考えております。放課後クラブである「英語クラブ」は、保護者の方が中心となり、外部指導者を招聘し運営しているもので、学校が要望して行っているものではありません。

4. 体育・水泳について

(1)水泳の内容やクラス分けについての質問をいただきました。水泳の授業については、体育科教員と水泳コーチが定期的(2週間に1回程度)に打ち合わせを行いながら、児童生徒の実態等にに応じてそれぞれのクラスにあった授業を展開することができるよう、授業内容や進め方、児童生徒のクラス分け・クラス変更等について話し合っているところです。

水泳のクラス分けについてはA,B,Cの各クラス担当が泳力に合った指導をしています。例えば、小学2年生ですと、25Mが立たずに泳げることがBクラス以上の条件にしており、レベルに応じて小プールと併用しております。さらに、きれいなフォームで泳げること、また、クロール以外に平泳ぎができることもAクラスに上がるには必要となっています。

クラスのレベルは一概に決まっているわけではなく、学年に応じて必要とされる距離や泳法が変わることをご理解ください。不明な点などございましたら、ご質問いただければ幸いです。

また、「水泳の習い事をしなくても泳げるようにしてほしい」とのご意見をいただきました。水泳コーチと協力して、子ども達が水泳の技術や体力を高めることができる授業づくりを工夫してまいります。

5. 清掃活動について

(1)「土足にも関わらず、素手で床の雑巾掛けをするのは衛生上どうなのか。モップなどに変更できないのか」とのご意見をいただきました。本校では、清掃終了後に手洗いを徹底しており、衛生面には配慮しております。日本の学校では一般的に雑巾を用いて床掃除を行っていることを踏まえ、帰国後の生活と同じような環境を整えるためにも、この方法を採用しております。今後はより安全で衛生的な清掃方法についても、検討してまいります。

6. 教育活動全般について

(1)「学期終盤の午前のみ授業が続く時程を改善いただきたい。家庭内や習い事等スケジュールに影響が大きい。通常の5、6時間授業のままで日数を減らして早めに長期休暇に入る方が、一時帰国の予定も立てやすくありがたい」とのご意見をいただきました。昨年度、今年度ともに午前みの授業が続く時程は、3学期末の修了式の日を含め、年間で4日間です。必要な授業時数の確保のためこのような対応を行っておりますが、別の方法も検討したいと思います。

(2)「英検や漢検に加え、算数検定も受験できるようにならないか。長期休みとも重ならず、日本での受験は難しい」とのご意見をいただきました。算数・数学の学習意欲を高める機会としても、学校での検定実施は子どもたちにとって有益であると考えております。一方で、学校全体としては教職員の業務改善も重要な課題となっており、検定実施にあたっては運営体制や実施方法など、慎重な検討が必要です。よって、本校での算数検定・数学検定の実施については、今後の教育活動全体とのバランスを踏まえながら、検討を進めてまいります。

7. 放課後クラブ、放課後等の施設開放について

(1)「放課後クラブで(小学部)1年生も参加できるものがもう少し選択肢が多いと嬉しい。体操など新設されたらすごく嬉しい」とのご意見をいただきました。放課後クラブについては、保護者の方が中心となり、外部コーチを招聘するなどして運営しているところです。放課後クラブ数を増やすには保護者の方のご協力が必要となります。

(2)「海外に住む子女が安全に安心して遊べる場所として、月に数回の校庭開放を希望する」とのご意見をいただきました。放課後の教職員の業務としましては、授業や行事の準備、会議等が入っており、現実的に教職員が管理・運営することは難しい状況です。

今回のアンケート結果を真摯に受け止め、今後もよりよい学校づくりを目指し努力してまいります。引き続き、保護者の皆様の温かいご支援とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。